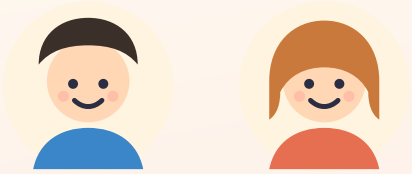
Season 1 | No.7



日本の住まい

木と紙と畳がつくる、暮らしの知恵



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 **見て・ふれて・感じる**
写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2 **「なぜ？」を考える**
行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3 **「やってみよう」で体験する**
答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken（ケン）
日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

家の基本 3〜5
部屋のつくり 6〜8
暮らしの工夫 9〜10
地域と町の住まい 11〜13
今の住まい 14〜15
見て・体験しよう 16〜17
さらに知ろう 18〜21
マナー 22
まとめとふり返り 23〜25
伝えてみよう 26〜28
チャレンジ 29〜30

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 1

日本の家のつくり

日本の家には、気候や暮らしに合わせた工夫があります。

日本の家は、**木を中心にした材料**で建てられ、風通しや湿気への工夫がこらされてきました。
地域の気候や暮らし方に合わせて、家のつくりにもさまざまな工夫が生まれました。



木造
もくぞう／wooden construction
木を骨組みにしてつくる建て方

和室
わしつ／Japanese-style room
畳をしいた、日本風の部屋

ポイント

- 日本は湿気が多いため、風通しをよくする工夫が発達しました。
- 地震が多いことも、日本の家のつくりに影響をあたえてきました。
- 木や紙、土など、自然の材料が多く使われてきました。

やってみよう

1. 自分の家や祖父母の家に、和室があるか聞いてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 2

木の家

日本の家は、昔から木を中心につくられてきました。

木造建築
もくぞうけんちく
木を使って建てる建物

柱
はしら
家を支える、縦の木材

ポイント

- 木は加工しやすく、日本各地で手に入りやすい材料でした。
- 太い柱と、はりとよばれる横の木材を組み合わせて骨組みをつくります。
- 木の家は、湿気を吸ったり吐いたりして、室内を快適に保つといわれています。

やってみよう

1. 身のまわりで、木でできているものを3つ探してみよう。

ワンポイント 法隆寺のように、1000年以上前に建てられた木造の建物が今も残っています。

書いて覚えよう

Lesson 3

畳の部屋

畳は、日本の住まいを代表する床材です。

畳

たたみ／tatami

い草を編んでつくる、日本独自の床材

和室

わしつ

畳をしいた部屋

材料

い草という植物を編んでつくる

香り

干し草のような、独特のよい香りがする

数え方

部屋の広さを「畳」の数で表す

ポイント

- 畳の上では、靴をぬいで、はだしやくつ下で過ごします。
- 座ったり寝転んだりと、いろいろな使い方ができます。

やってみよう

1. 和室に入ったときの、畳の感触やにおいを思い出して書こう。

書いて覚えよう

Lesson
4-5

ふすまと障子・縁側

ふすまや障子、縁側は、部屋と外をゆるやかにつなぎます。

ふすま

部屋をしきる

厚い紙や布
光を通さない

部屋の仕切り
開け閉めで広さを変えられる

障子

光を通す

うすい和紙
やわらかい光を通す

外との仕切り
窓のような役わり



Emma
障子から入る光って、やわらかい感じがするね。



Ken
うん。和紙が光を通すから、まぶしくないんだって。

ポイント

- ふすまや障子は、開け閉めして部屋の広さを自由に変えられます。
- 縁側は、部屋と庭の間にある板じきの空間で、外の光や風を取り入れます。

やってみよう

1. ふすまと障子のちがいを、自分のことばで説明してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 6

床の間

床の間は、お客様をもてなすための特別な空間です。

床の間
とこのま
和室にある、一段高くなった飾りの空間

掛け軸
かけじく
床の間にかざる、絵や字が書かれた軸

ポイント

- 床の間には、掛け軸や花、季節の飾りをかざります。
- 床の間に近い席は、お客様のための特別な席とされてきました。
- 季節や行事に合わせて、かざるものを変える習慣があります。

やってみよう

1. 床の間を見たことがあれば、何がかざられていたか書こう。

ワンポイント 床の間に物を置いたり、上に立ったりしないのが、昔からのマナーとされています。

書いて覚えよう

Lesson
7-8

玄関と土間

玄関や土間は、家の外と中をつなぐ場所です。

玄関
げんかん
家に入るときに靴をぬぐ場所

土間
どま
家の中にある、床をはらずに土のままにした場所

玄関
靴をぬいで家に上がる、日本の家の入りロ

土間
昔の家で、料理や作業をした場所

上がりかまち
土間と、床が上がる部分との境目

ポイント

- 日本の家では、家に入るときに靴をぬぐ習慣があります。
- 土間は、昔の家で台所や作業場として使われていました。

やってみよう

1. 玄関で靴をぬぐとき、どんなことに気をつけていますか。

書いて覚えよう

Lesson 9

囲炉裏

囲炉裏は、暖をとり、食事をつくるための場所でした。

囲炉裏
いろり
床を四角く切って、火をたく場所

自在鉤
じざいかぎ
囲炉裏の上から鍋をつるす道具

ポイント

- 囲炉裏は、暖房と調理の両方の役わりをはたしていました。
- 家族が囲炉裏を囲んで、食事をしたり話をしたりする場でもありました。
- 今では、古民家や資料館で見られることが多くなりました。

やってみよう

1. 囲炉裏を見たことがあるか、家族に聞いてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント 囲炉裏の火には、暖める・調理する・明かりをともすという、いくつもの役わりがありました。

書いて覚えよう

Lesson
10-11

かやぶき屋根と瓦屋根

屋根の材料にも、地域や時代によるちがいがあります。

屋根の種類	主な材料	特徴
かやぶき屋根	かやなどの植物	厚みがあり、夏は涼しく冬は暖かい
瓦屋根	焼いた粘土（瓦）	雨や火に強く、長持ちする



Ken
かやぶき屋根の家、テレビで見たことあるよ。

Emma
分厚くて、あたたかそうだったね。



ポイント

- かやぶき屋根は、定期的にふきかえる手入れが必要です。
- 瓦屋根は、江戸時代以降、町の家でも広く使われるようになりました。

やってみよう

1. 屋根の材料を、自分の家や近所の家で確かめてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 12

地域の家の工夫

家のつくりは、地域の気候に合わせて工夫されています。

ポイント

- 雪の多い地域、暑い地域など、気候によって家のつくりが変わります。
- 地域で手に入りやすい木や土、石などの材料も、家のつくりに影響します。
- 同じ日本でも、地域によって家の形や屋根の傾きがちがいます。

やってみよう

1. 自分の住む地域の家に、どんな工夫があるか考えてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
13-14

雪国の家と暑い地域の家

雪国と暑い地域では、家のつくりが大きくちがいます。

雪国の家

雪の重さと寒さに備える

急な傾きの屋根
雪が積もりにくい

小さめの窓
冷たい風を防ぐ

暑い地域の家

風通しと日ざしに備える

高い天井・広い窓
風を通しやすくする

広い軒
日ざしを防ぐ

ポイント

- 雪国では、屋根に積もった雪を落としやすくする工夫があります。
- 沖縄など暑い地域では、強い日ざしや台風に備えた家のつくりも見られます。

やってみよう

1. 自分の地域の家は、雪国型・暑い地域型、どちらに近いですか。

_____

書いて覚えよう

Lesson
15-16

町家と長屋

町家や長屋は、まちの中で暮らすための知恵が生きた住まいです。

町家

まちや

商売と住まいを兼ねた、まちの中の家

長屋

ながや

1つの建物をいくつかの家に分けた住まい

ポイント

- 町家は、道に面した部分がお店、奥が住まいになっていることが多かったです。
- 長屋は、限られた土地で多くの家族が暮らすための工夫でした。
- 町家には、風や光を奥まで通すための「通り庭」という工夫もあります。

やってみよう

1. 町家や長屋が残る町を、写真や地図で探してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 17

今の日本の家

今の日本の家には、昔と今の工夫が組み合わさっています。

マンション
集合住宅で、都市部に多い

一戸建て
1つの家族のための独立した家

和室のある家
洋室の中に和室を1つ設ける家も

最新の設備
断熱や省エネの技術が進んでいる

ポイント

- 今の家では、洋室が中心になり、和室は1部屋だけという家も増えています。
- 断熱の技術が進み、昔より快適に過ごせる家が増えています。

やってみよう

1. 自分の家に、和室や畳の部屋があるか確かめてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
18-19

家の中の季節の工夫

日本の住まいには、季節を快適に過ごすための知恵がつまっています。

すだれ

すだれ

日ざしをさえぎる、竹などで編んだもの

打ち水

うちみず

地面に水をまいて涼しくすること

ポイント

- 夏は、すだれや打ち水で涼しさを工夫してきました。
- 冬は、障子を閉めて冷気を防いだり、こたつで暖まったりします。
- 風通しをよくすることは、昔から日本の住まいの大切な知恵でした。

やってみよう

1. 夏や冬に、自分の家でしている涼しさ・暖かさの工夫を書こう。

ワンポイント エアコンがなかった時代の知恵は、今の暮らしにも活かせるヒントがたくさんあります。

書いて覚えよう

Lesson 20

写真や実物を見てみよう

実際に見ることで、日本の住まいの工夫がよくわかります。

見てみようリスト

畳　障子　床の間　かやぶき屋根　囲炉裏

古民家園や資料館で、実物を見られることがあります。

ポイント

- 写真や動画でも、部屋のつくりや素材のちがいがよくわかります。
- 近所に古い家や町並みが残っていれば、歩いて見てみるのもよい方法です。

やってみよう

1. 家や学校の周りで、和風の建物を1つ見つけてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 21

体験してみよう

実際にふれることで、住まいの工夫を体で感じましょう。

やってみよう

1. 和室があれば、畳の上に座ったり寝転んだりしてみよう。
2. 障子やふすまがあれば、そっと開け閉めしてみよう。
3. 畳のにおいや感触を、ことばで書いてみよう。

ポイント

- 古い建物にふれるときは、大人といっしょに、こわさないように気をつけましょう。
- 資料館の古民家では、係の人の説明を聞くとより楽しめます。

書いて覚えよう

Lesson 22

由来と意味をおさらい

ここまで学んだ住まいの工夫を、まとめて振り返りましょう。

ポイント

- 畳や障子は、風通しや湿気への工夫から生まれました。
- 床の間は、お客様をもてなすための特別な空間として生まれました。
- 屋根や壁の材料は、地域で手に入るものが使われてきました。

やってみよう

1. いちばん印象に残った住まいの工夫を1つ書こう。

書いて覚えよう

Lesson
23

地域によるちがい

住まいのつくりには、地域によるちがいがあります。

ポイント

- 雪国と暑い地域では、屋根や窓のつくりが大きくちがいます。
- 沖縄には、台風に備えた石垣や、風通しのよいつくりの家があります。
- 北海道など寒い地域では、二重窓など、寒さを防ぐ工夫が発達しました。

やってみよう

1. 自分の地域ならではの、家の工夫を調べてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 24

昔と今をくらべよう

住まいのつくりは、時代とともに変わってきました。

昔

自然の材料が中心

木・土・紙
身近な材料でつくる

囲炉裏で暖房
火を囲んで暮らす

今

新しい技術が中心

断熱材
快適な室温を保つ

エアコン・床暖房
機械で温度を調節する

ポイント

- 技術が進み、快適さは大きく向上しましたが、風通しなど昔の知恵も見直されています。

やってみよう

1. 昔の工夫で、今の暮らしにも使えそうなものを1つ考えよう。

書いて覚えよう

Lesson 25

よくある疑問

住まいについて、よく聞かれる疑問に答えます。



Emma
畳の部屋がある家って、今も多いの？



Ken
昔よりは減ったけど、1部屋だけ和室がある家は多いよ。



Emma
障子ってやぶれやすくないの？



Ken
やぶれることもあるけど、貼りかえて長く使うことが多いんだって。

ポイント

- 障子は「障子張り」という作業で、紙を貼りかえて手入れします。
- 住まいの形は、家族の人数や暮らし方によっても変わります。

やってみよう

1. 住まいについて、もっと知りたい疑問を1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 26

マナーと注意点

和室や古い建物を訪れるときのマナーがあります。

ポイント

- 和室に入るときは、ふすまや障子をていねいに、両手で開け閉めしましょう。
- 畳のへりを踏まないようにする、という昔からの習慣があります。
- 床の間には、物を置いたり上に立ったりしないようにしましょう。

ワンポイント 古い建物や資料館では、柱や壁にさわらないようお願いされることもあります。案内をよく見ましょう。

やってみよう

1. 和室で気をつけたいマナーを1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 27

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

部屋のつくり

- ☐ **畳**
  い草でできた床材
- ☐ **障子**
  光を通す紙の建具
- ☐ **ふすま**
  部屋を仕切る建具

特別な空間

- ☐ **床の間**
  かざりのための空間
- ☐ **縁側**
  部屋と庭をつなぐ空間
- ☐ **土間**
  床をはらない場所

暖と火

- ☐ **囲炉裏**
  暖房と調理を兼ねた炉
- ☐ **かやぶき屋根**
  かやで葺いた屋根
- ☐ **瓦屋根**
  粘土を焼いた瓦の屋根

まちの住まい

- ☐ **町家**
  商売と住まいを兼ねた家
- ☐ **長屋**
  1棟を分けた集合住宅
- ☐ **打ち水**
  水をまいて涼しくすること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。ことばを知ると、古い町並みを見る目も変わります。

書いて覚えよう

Lesson 28

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 名前と説明を線でむすぼう

畳	●	● ア. 水をまいて涼しくすること
囲炉裏	●	● イ. い草を編んでつくる床材
縁側	●	● ウ. 1つの建物を分けた住まい
長屋	●	● エ. 暖房と調理を兼ねた炉
打ち水	●	● オ. 部屋と庭をつなぐ空間

2. 光を通す建具と、通さない建具の名前を書こう

1. _____
2. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. お客様をもてなす特別な空間 → （ 床の間 ／ 土間 ）

書いて覚えよう

Lesson 29

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	畳と障子のちがいを説明できる	素材と役わりのちがい
☐	床の間の役わりを言える	お客様をもてなす空間
☐	地域による家のちがいを1つ言える	雪国・暑い地域など
☐	和室でのマナーを1つ言える	畳のへりを踏まないなど
☐	昔の住まいの知恵を1つ言える	打ち水・すだれなど

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 全部できなくても大丈夫。少しずつ増やしていけば十分です。

書いて覚えよう

Lesson 30

家族や友だちに話してみよう

学んだことを、身近な人に話してみましょう。

伝える相手	
紹介する住まいの工夫	
いちばん驚いたこと	
聞いてみたいこと	

Emma の例

伝える相手 ホストファミリー／紹介する住まいの工夫 畳と障子／いちばん驚いたこと 靴をぬいで家に上がる習慣／聞いてみたいこと 昔の家にはどんな工夫があったか

ポイント

- 家族に、昔の家の思い出を聞いてみるのもおすすめです。

書いて覚えよう

Lesson 31

英語で紹介してみよう

住まいのことを、英語でも紹介してみましょう。

畳
tatami
い草でできた床材

障子
shoji
光を通す紙の建具

床の間
tokonoma
かざりのための特別な空間

縁側
engawa
部屋と庭をつなぐ空間



Emma
「tatami」も、そのまま英語で使われているんだね。



Ken
うん。畳や障子は、英語でもそのままの名前で紹介されることが多いよ。

やってみよう

1. 「This room has tatami floors.」に続けて、和室について一言英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 32

もっと知りたい人へ

住まいの世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

古民家園で
昔の家を見て歩く

資料館で
住まいの歴史を調べる

町歩きで
町家や長屋を探す

次のステップ

建築の工夫
地震や台風への備えをくわしく

年中行事
季節の飾りと住まいの関係

地域の文化
地域ごとの暮らしをくわしく

ポイント

- この教材の次は、地域の行事や年中行事について、さらにくわしく学んでいきましょう。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 日本の住まいには、どんな工夫がありますか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん心に残った部屋やしくみは？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから確かめてみたいことは？＿＿＿＿＿＿＿＿

住まいミッションカード

MISSION 1
家の中で和室や畳を探してみる

MISSION 2
障子やふすまの開け閉めをしてみる

MISSION 3
古い町並みの写真を1枚見る

MISSION 4
住まいの工夫を家族に1つ紹介する

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson 34

日本の住まいチャレンジ

教室の外でも、住まいの工夫を見つけてみましょう。

見つけよう
身近な建物で**和風のつくり**を探す

聞こう
家族に**昔の家の思い出**を聞く

伝えよう
友だちに**住まいの工夫**を1つ紹介する

こたえ

L28 畳→イ 囲炉裏→エ 縁側→オ 長屋→ウ 打ち水→ア　2. 障子 ／ ふすま　3. 床の間

L33 （例）日本の家は、気候や暮らしに合わせて、木や畳など自然の材料で工夫されてきた。

書いて覚えよう

日本の住まい（Season 1 ｜ No.7）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。